

2/28  
系-15

# 「台湾有事」想定での政府避難計画

## 沖縄本島は対象外

### 宮古は鹿児島八重山は福岡経由

政府は「台湾有事」に関して、宮古地域（宮古市、与那国町、竹富町）は福岡空

港をそれぞれ経由地とし、両空港から各地の避難先へ移送する方向



で調整に入りました。九州各県と山口県が2024年度中に策定する避難受け入れの「初期的計画」に反映させます。

一方、沖縄本島の住

民は避難の対象外で、「屋内避難」としました。沖縄本島は人口が130万人を超え、「有事」の際には先島以上に標的となる可能性が高い米軍・自衛隊基地が集中していません。南西地域で米中の軍事衝突が発生し、日本が巻き込まれれば、大半の沖縄県民は逃げ場がないことが示されました。

避難の対象は先島諸島の住民と観光客計約12万人で、1カ月程度の滞在を想定。民間航空機を利用することを基本とし、鹿児島、福岡両空港から個別の避難先へは陸路での移動が中心となる見込みです。政府は現在、受け入れを担う九州と山口

の自治体に対し、ホテルや旅館、公営住宅といった宿泊設備の食料などの備蓄③利用可能な医療機関④について情報を問い合わせさせています。

ただ、実際に「台湾有事」が発生した場合、台湾に滞在する数万人単位の邦人が先島諸島や沖縄本島などに避難してくることも予想されるため、12万人を大きく超えるのは避けられません。

一方、気象条件が悪化したケースや、健康上の都合で航空機の利

用が困難な人がいることなども考慮し、船舶による避難経路も別途確保します。ただ、過去の沖縄戦では避難する住民を乗せた船舶が撃沈される事態も起こっています。